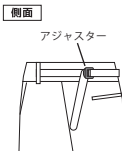
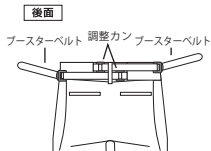
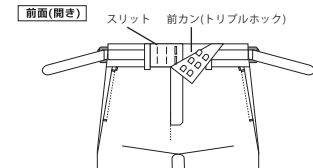
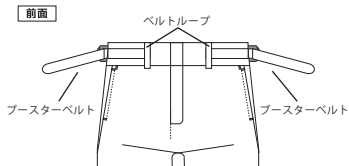


各部の名称



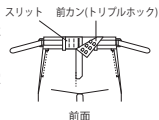
その他

通常のベルトをブースターベルトの上から着用することも可能です。

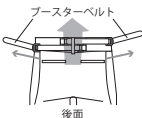
装着方法

- 1 パンツを履きます。

- 2 自分のウエストに合う位置で前カン(トリプルロック)を止めます。余った前カンはスリット穴に留めます。



- 3 ブースターベルト端を持って左右に引っ張ります。背筋がグッと伸びる感覚のところでアジャスターにロックがかかります。



- 4 余ったブースターベルトは腰ポケット内部にあるループに通して収納ができます。



- 5 ブースターベルトを緩める際は、アジャスターを後ろに引くことで簡単にロックが解除できます。



ベルトの効果

パンツに備えられたブースターベルトは滑車を応用した構造により、軽い力で引っ張ることができ、骨盤周囲を十分に締め込むことができます。

3つの効果

サポート1 筋電位測定

15kgの荷重の場合、着用作業時広背筋の筋活動量が12.3%低減

・測定方法

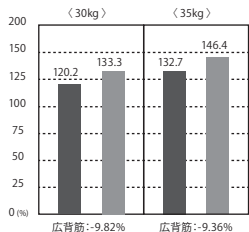
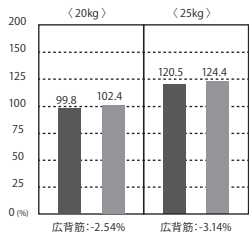
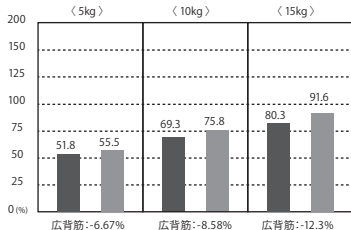
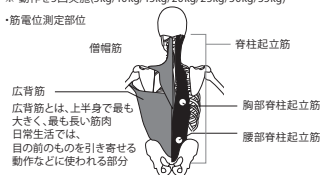
前試験：ベッドの端から上半身を出した姿勢で、体幹伸展動作を行った。
この時、被験者の肩周りに手を当て、床方向に負荷をかけながら水平位を維持した。この時の測定値をMVCとした。

※ 前試験は100%の力を測定、グラフの数値は筋内使用量
例：5kgの重りを30%の力で持ち上げることができた

本試験：床に置いた荷重(5kg、10kg、15kg、20kg、25kg、30kg、35kgの7種類)を下記のサイクルにて移動させ、本製品のベルトを締めた状態と比較対象品(品番:CS003C エアロストレッチライミングパンツ)を筋電位測定した。

※ サイクル：床→腰高→維持→腰高→床を2秒ごとに移動
※ 動作を5回実施(5kg/10kg/15kg/20kg/25kg/30kg/35kg)

・筋電位測定部位



■ ① 本製品 ■ ② 比較品(CS003C ライミングパンツ)

※ 6人で5回ずつ実施した際の全ての数値の平均値
※ 各測定部位における低減効果にはばらつきがあります

サポート2 骨盤回旋角度

着用歩行時腰の捻りの左右差が25%軽減

・測定方法

パンツを着用し、約7mの直線を歩行。ベルトを締めた状態と締めていない状態で回旋角度(°)を測定。モーションキャプチャーは骨盤の両側に装着。

※ 回旋角度:水平面上において、左右の上前腸骨棘の midpoint と左右の後腸骨棘の midpoint を結んだ直線と前後軸とのなす角度

| 被験者A | ①本製品 | ②比較品 | ①~② |
|------------|------|------|------|
| 最大 | 0.0 | 0.5 | - |
| 最小 | -6.5 | -9.5 | - |
| 最大-最小(絶対値) | 6.5 | 9.0 | -2.5 |

| 被験者B | ①本製品 | ②比較品 | ①~② |
|------------|------|------|------|
| 最大 | 4.2 | 3.0 | - |
| 最小 | -5.1 | -8.8 | - |
| 最大-最小(絶対値) | 0.9 | 5.8 | -4.9 |

| 被験者C | ①本製品 | ②比較品 | ①~② |
|------------|------|------|------|
| 最大 | 2.8 | 0.3 | - |
| 最小 | -6.5 | -8.8 | - |
| 最大-最小(絶対値) | 3.7 | 8.5 | -4.8 |

| 被験者D | ①本製品 | ②比較品 | ①~② |
|------------|------|------|------|
| 最大 | 3.8 | 1.5 | - |
| 最小 | -3.1 | -3.3 | - |
| 最大-最小(絶対値) | 0.7 | 1.8 | -1.1 |

| 被験者E | ①本製品 | ②比較品 | ①~② |
|------------|-------|------|-----|
| 最大 | 4.2 | 5.9 | - |
| 最小 | -10.1 | -8.0 | - |
| 最大-最小(絶対値) | 5.9 | 2.1 | 3.8 |

| 被験者F | ①本製品 | ②比較品 | ①~② |
|------------|------|------|-----|
| 最大 | 7.4 | 7.1 | - |
| 最小 | -4.6 | -6.7 | - |
| 最大-最小(絶対値) | 2.8 | 0.4 | 2.4 |

| 平均 | ①本製品 | ②比較品 | ①~② |
|------------|------|------|-------|
| 最大-最小(絶対値) | 3.42 | 4.6 | -1.18 |

マイナス傾向の被験者が6人中4人

サポート3 歩幅

着用歩行時歩幅が広がりやすい

6人中4人は歩幅が広がる傾向が見られ、被験者全員の平均値は+1.6cm、個人の最大値は+4.8cm

・測定方法

パンツを着用し、約7mの直線を歩行。ベルトを締めた状態と締めていない状態で歩幅(cm)を測定。

※ 歩幅:左右踵より算出

※ 7mの中間地点(歩行時のスピードが安定している地点)を計測



①左足→②右足→③左足の場合
①と③の踵の距離

プラス傾向の被験者が6人中4人

| 歩幅(重複歩) | ①本製品 | ②比較品 | ①~② |
|---------|-------|-------|------|
| 被験者A | 121.8 | 123.0 | -1.2 |
| 被験者B | 124.1 | 119.7 | 4.4 |
| 被験者C | 119.2 | 118.1 | 1.1 |
| 被験者D | 137.7 | 133.4 | 4.3 |
| 被験者E | 134.3 | 129.5 | 4.8 |
| 被験者F | 124.6 | 127.8 | -3.2 |
| 平均 | 126.9 | 125.3 | 1.6 |

△ 注意 △

【次の方は使用しないでください】

- 腰痛等でも異常がある方
- ベルト装着部位に傷、腫れ物、湿疹等異常がある方

【使用上の注意】

- 本製品の使用中に異常、違和感を感じた場合は直ちに使用を中止し、医師にご相談ください。
- 長時間及び就寝時の着用はお避けください。
- 長時間使用する場合は適度にベルトを緩めてください。
- 腹部を圧迫しすぎず、適度な強さで使用してください。
- 本製品を使用して過度に重いものを持つことや必要以上に腰に負担のかかる姿勢をとることはおやめください。
- サポーター類の他商品との同時装着はしないでください。
- 加工、改造、修理はしないでください。
- この取扱説明書に示した着用方法以外でのご使用は怪我や破損の原因となりますのでお止めください。
- 長期使用、保管による経年劣化、破れやほつれ等が生じた場合には新しい製品のご購入をおすすめします。